（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

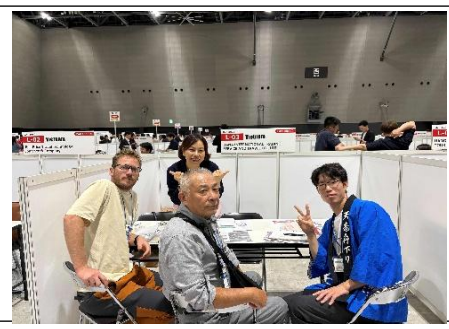
令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那路・木曽路の広域での市民協業による持続可能な観光コンテンツの開発およびプロモーション
事業主体 （連絡先）	伊那路・木曽路広域観光連携会議 （長野県飯田市大久保町2534　/　0265-49-4737［南信州観光公社内］）
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大　ア　特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,886,809　円（うち支援金：　2,309,000　円）

事　業　内　容

■住民協働によるインバウンド向けサステナブルツーリズムコンテンツ開発・プロモーション
・インバウンド向けコンテンツの造成と販売開始
・国際商談会VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2025への参加
・地域を象徴する住民に出会う事を目的にする旅行‘人に出会う旅’の造成、販売検討

■三地域プラットフォームウエブサイトの構築、運営



【VJTMでの市民よる海外向PR】

事　業　効　果

①住民協働によるインバウンド向けサステナブルツーリズムコンテンツ開発・プロモーション
-4件のインバウンド向けコンテンツの造成と販売開始した。
②住民協働によるVJTMへの参加
-海外のインバウンド旅行会社との商談　50社との商談を実施。旅行会社との新規取引が発生した。
③‘人に出会う旅’の造成、販売検討
-12月までに造成し、12月と2月に国内大手旅行会社他へ販売を行った。
④三地域プラットフォームウエブサイトの構築
-ウエブサイト経由でのインバウンド旅行会社からの商談が発生した。
-野県観光機構との協業し、ウエブサイト活用したデジタルプロモー

【目標・ねらい】

①3件以上の新規インバウンド商品の造成と販売開始
②住民のVJTMでの海外インバウンド旅行会社との商談参加と販売
③‘人に出会う旅’の造成、販売
④三地域プラットフォームウエブサイトでのユーザー獲得

※自己評価【　A　】

【理由】
それぞれの目標値を達成し、人に出会う旅やプラットフォームでも、商談が発生するなど一部で想定を超えた効果が得られた。

今後の取り組み

住民協働を継続し、サステナブルツーリズムに関する活動を拡大していく。
また、今後も商品の磨き上げ、受入れ体制の整備を図りながら、長期的なPR、プロモーションを継続していく。住民協働については新たな参加者を募る活動も行っていきたい。